











# 支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
				**		**		


起票日	令和 7年 5月 16日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 7, 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	2,920,000円	控除	所得 税	0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	5回		雇用保険料	0円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000円		その他	0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	42,200円	請求書番号	控除額合計	0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	557,800円				
源泉支払内容	*****				

件名 旅費 令和7年度市町村議会議員研修「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」

摘要

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 5月28日
	住所			
	名称	市民未来の会代表者 野田 悦子		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所			領収印	
	氏名	市民未来の会代表者 野田 悦子			

上記の金額を領収しました。


令和 7年 5月 28日

支払済
-----

令和

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認


001  負担行為番号  
07-000297

伝票番号 呼出番号

07-002208









整理番号

07-000004-05



00678012

07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供 覧	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	総括主査	主査
								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和7年5月13日

泉大津市長  
南出賢一様  
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民未来の会  
代表者名 野田悦子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	2,920円		
内 訳	令和7年5月19日（月）～20日（火） 令和7年度市町村議会議員研修【2日間コース】 「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」 旅費		
支払先	井上 信久		
予算科目	旅費	交付残額	557,800円
使用者名	井上 信久		

令和7年度

# 出張申請書

(出張)

会派名	市民未来の会		氏名	井上 信久				
出発・帰庁年月日	出発 令和7年5月19日		帰庁 令和7年5月20日					
出張先(順路)	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)							
目的及び用件	令和7年度市町村議会議員研修[2日間コース] 「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
和泉府中(自宅最寄駅)   (JR阪和線・関西空港線)	km			円	円	円	円	円
大阪	31.6							
"   (JR京都線)								
京都	42.8							
"   (JR東海道本線・湖西線)								
唐崎	14.0	88.4	1,460					1,460
"   ( 線)								
復路	88.4	1,460						1,460
( 線)								
( 線)							計	2,920
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								


宿泊料:別途、負担金として納入  
日当:滋賀県のため支給なし

主管課用









令和7年度

### 領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民未来の会		氏名	井上 信久				
出発・帰庁年月日	出発 令和7年5月19日		帰庁 令和7年5月20日					
出張先(順路)	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号)							
目的及び用件	令和7年度市町村議会議員研修[2日間コース] 「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
和泉府中(自宅最寄駅)   (JR阪和線・大阪環状線)	km		円	円	円	円	円	円
大阪	31.6							
(JR京都線)								
京都	42.8							
(JR東海道本線・湖西線)								
唐崎	14.0	88.4	1,460					1,460
( 線)								
復路		88.4	1,460					1,460
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
右の金額領収いたしました。				金額				¥ 2 9 2 0
令和	年	月	日					
泉大津市会計管理者 殿				職名	市民未来の会			
				氏名	井上 信久  印			

□決 裁      ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和7年6月25日			
差出 名		市民未来の会 井上 信久						
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限			
收受文書の記号				收受文書の日付	令和7年6月20日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合
								
主 管	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長		主査		係員		議
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
<p>日 時：令和7年5月19日（月）～5月20日（火）</p> <p>出張先：全国市町村国際文化研修所</p> <p>研修名：市町村議会議員研修</p> <p style="text-align: center;">自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～</p>								

会派代表



## 報告書

令和7年6月20日（金）

泉大津市議会議長 様

会派名 市民未来の会

出張者氏名 井上 信久



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

### 記

- 1 日 時 令和7年5月19日（月）～5月20日（火）
- 2 出張先 全国市町村国際文化研修所
- 3 内 容 市町村議会議員研修  
自治体決算の基本と実践  
～行政評価を活用した決算審査～
- 4 所 見 次頁参照

#### 4 所 見

<研修1日目>令和7年5月19日(月)

「講義①」: 13:00~17:00

自治体決算の意義と審査のポイント

武庫川女子大学 経営学部

教授 金崎 健太郎 氏

##### 1. 地方公共団体と民間企業の会計の違いについて説明

「会計の違い」

・作成目的:

地方公共団体は、「住民の福祉の増進」

民間企業は、「利益の追求」

・簿記方式:

地方公共団体は、「単式簿記」

民間企業は、「複式簿記」

・認識基準:

地方公共団体は、「現金主義会計」

民間企業は、「発生主義会計」

・決算資料:

地方公共団体は、

「歳入歳出決算書」

「歳入歳出決算事項別明細書」

「実質収支に関する調書」

「財産に関する調書」

民間企業は、

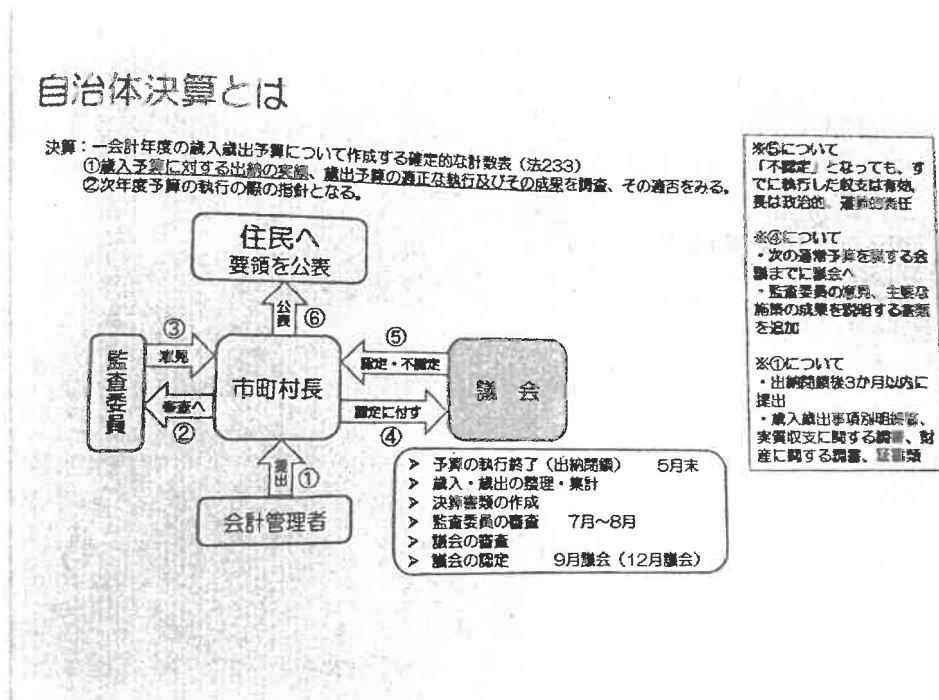
「貸借対照表」、「損益計算書」

「株主資本等変動計算書」

「キャッシュ・フロー計算書」

## 2. 自治体決算とは

### 1) 自治体決算の流れについて



6

### 2) 決算関係書類

前述 1. で示した地方公共団体が作成する決算資料についての説明

## 3. 決算を用いた財政診断

### 1) 財政診断に活用できる資料

<各市町村で公表>

- ・ 財政状況の公表資料
- ・ 決算関係書類
- ・ 出資法人等の経営状況の報告資料

<総務省による公表>

- ・ 財政状況資料集
- ・ 市町村別決算状況調

- ・ 全市町村の主要財政指標
- ・ 類似団体別市町村財政指数表
- ・ 給与情報
- ・ 地方公営企業決算
- ・ 第三セクター等の状況調
- ・ 公共施設状況調

## 2) 決算カード・財政状況資料集についての説明

決算カード・財政状況資料集に記載されている各項目及びチェック内容について説明。

### 【チェック内容】

実質収支：歳入と歳出の収支は合っているか。

実質収支比率：目安として3～5%が望ましい。

単年度収支、実質単年度収支：単年度の現金の実質的な過不足額を把握。

財政力指数：財政面での豊かさの程度を確認。

経常収支比率：維持管理のための経費を確認。

## 3) 健全化判断比率についての説明

健全化判断比率については、4項目がある。

- ・ 実質赤字比率
- ・ 連結実質赤字比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

## 4) 令和5年度決算に基づく状況

財政再生団体：北海道夕張市

早期健全化団体：該当なし

5) 【参考】決算チェック 令和5年度西宮市決算

令和5年度西宮市の決算内容を決算カード・財政状況資料集を使用しチェックした内容の説明。

<研修2日目>令和7年5月20日(火)

「講義①」: 9:00~14:00

- ・自治体決算の基本と実践  
～行政評価を活用した決算審査～
- ・議会と行政評価の関係について
- ・グループ討議

京都大学公共政策大学院

名誉フェロー 小西 敦 氏

<本日のセミナーの目標>

行政評価等を議員としてどう活用するか。

⇒自身の考えを確認しつつ、理解を深め行動へ。

研修の2日目はグループ討議を中心にセミナーが実施された。

グループ討議について

班: 7班

参加者: 太宰府市、福知山市、笠間市、守屋市、甲府市、渋川市、  
厚木市の各議員及び井上の計8名

グループ討議結果発表者: 泉大津市 井上

グループ討議内容

問1) 議会と行政評価の関係について、標準型をつくるとしたら、  
どのようなタイプにすべきか。

「検討内容」

- 福知山市は、藤枝市と同じサイクルで実施している。  
事業については、全事業を対象としている。
- 太宰府市は、評価書があるだけで、行政評価のサイクルは実施していない。事業の選出は職員が実施している。
- 厚木市は、評価書を職員が作成している。(全事業を対象)  
行政評価のサイクルは実施していない。
- 笠間市は、評価書を職員が作成している。(重要事業を対象)  
行政評価のサイクルは実施していない。
- 守屋市は、評価対象は常任委員会が選出している。  
評価書は作成していない。
- 甲府市は、藤枝市と同じサイクルで実施している。  
予算・決算委員会としては特別委員会に対応している。
- 泉大津市は、評価書を職員が作成している。(重要事業を対象)  
行政評価のサイクルは実施していない。  
予算・決算委員会としては特別委員会に対応している。
- 渋川市は、元々評価書を作成していたが市長が代わりなくなった。  
事業レビューという形で実施している。

「検討結果」

⇒藤枝型を選択（藤枝型については、別添資料参照）

問2) 問1 選択したその理由と内容を記載して下さい。

⇒8市の状況を確認したが、ほとんどの市が藤枝市のように行政評価のサイクルを実施していないことがわかった。  
また、多くの市で予算委員会や決算委員会において、予算から決算、決算から予算への引継ぎが実施されていないことが判明。  
そのため、まずは藤枝型を選択しチェックサイクルを最低でも1サイクル実施するのが良いという結論に至る。

問3) 上記で選択した標準型を実行するためには、どのようなことが必要になりますか。実行に必要な制度、資源、措置や状況を記載して下さい。

⇒議会基本条例の見直し

・予算・決算委員会を常任委員会にする。

⇒関係部署との協議・調整

⇒議会への提案・承認

⇒常任委員会の委員選出（可能であれば全議員が望ましい）

⇒市民へのフィードバック

#### 【さいごに】











今回は、自治体の決算におけるチェック体制と行政評価について学びました。昨年も同様のセミナーに参加しましたが、理解が不十分な点も多く、改めて受講することにしました。

今年は昨年の学びを土台に、講師の先生のわかりやすい説明もあって、さらに理解を深めることができました。

行政評価については、泉大津市で実施するにあたり、さまざまな課題や検討すべき点があると感じました。今後もできることから提案を重ね、実現に向けて、泉大津市の決算や行政評価が良くなるために取り組んでまいります。

以上

# 支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
				**		**		


起票日	令和 7年 5月 16日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 7年度	会計	01 一般会計
科目	款 01 議会費	予算区分	0 現年度
	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
	細々節 06 政務活動費,		

金額	5,120,000円	所得税	0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	6回	雇用保険料	0円	源泉徴収確認
負担行為額	600,000円	その他	0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	47,320円	控除額合計	0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	552,680円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件名 研究研修費 令和7年度市町村議会議員研修、「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」

摘要

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 5月28日
住所			
名称	市民未来の会代表者 野田 悦子		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		

領収住所			領収印	
領収氏名	市民未来の会代表者 野田 悦子			

上記の金額を領収しました。

令和 7年 5月 8日

泉大津市 会計管理者 あて









支払済
-----

支出負担行為 確認


001 負担行為番号 07-000297  
 伝票番号 呼出番号 07-002209  
 整理番号 07-000004-06 00678013



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	総括主査	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和7年5月13日

泉大津市長  
南出賢一様  
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民未来の会  
代表者名 野田悦子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	5,120円		
内 訳	令和7年5月19日（月）～20日（火） 令和7年度市町村議会議員研修【2日間コース】 「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」 研修経費および振込手数料		
支払先	(公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
予算科目	研究研修費	交付残額	552,680円
使用者名	井上 信久		

## ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
07-05-12	41364	通帳送金
記号		番号
*****		****4221
取扱番号	お取引金額	
NO44	*8,050	
	残高	
42P1	*80,033	
銀行 支店 普通 サイ)セノクシチヨウソケンシュウサ イタ ン 送金料金 *220円 振込予定日 07-05-12 イノウエノブヒサ イズミオツシキカイ		

ご利用いただきましてありがとうございました。

ゆうちよ銀行

令和7年度

# 市町村議会議員研修[2日間コース]

## 自治体決算の基本と実践

### ～行政評価を活用した決算審査～

予算執行の実績を明らかにする「決算」ですが、最近は予算編成と並び決算審査の重要性が注目されています。

この研修では、予算編成を見据え、決算審査のあるべき姿について考察し、行政評価や地方公会計によるバランスシート等の財務書類を活用した決算審査について学習します。

特に、地方議員が身に付けておきたい決算書類審査のポイント及び財政指標による自治体財政分析の手法を学ぶとともに、行政評価手法を活用して事務事業の改善ポイントを検討し、予算審議にも活用していく方法を学びます。

後援：全国市議会議長会、全国町村議会議長会

#### 開催要領

日 程

令和7年5月19日(月)～5月20日(火) (2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員の皆様

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。財政状況資料集など、細かい数字を確認しながらの講義・演習となりますので、眼鏡などが必要な方は、予め準備をして研修へご参加ください。過去に本研修を受講された方もお申込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によって、お断りする場合がありますので、ご了承ください。

募集人数

60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

8,050円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年4月4日(金)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和7年

5月  
19日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

12:45~

開講式・オリエンテーション

13:00~17:00

講義・演習 **自治体決算の意義と審査のポイント**

武庫川女子大学 経営学部 教授 **金崎 健太郎** 氏

自治体決算の意義や流れ、その役割や重要性について学びます。さらに、決算カードや類似団体比較カードの読み方を学習し、実際の決算審査の際のポイントなどについて理解を深めます。

17:45~

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~14:10

講義・演習 **行政評価等を活用した決算審査**

京都大学公共政策大学院名誉フェロー **小西 敦** 氏

行政評価の基本と目的を理解し、評価手法等を知り、それらを活用した決算審査の進め方について理解を深めます。また、議会による行政評価への関わり方についても考えます。

14:10~14:25

閉講・事務連絡

令和7年

5月  
20日(火)

## 講師紹介

武庫川女子大学 経営学部 教授 **金崎 健太郎** 氏

京都大学法学部卒業。筑波大学大学院システム情報工学研究科博士課程修了、博士(社会工学)。

1992年自治省(現総務省)入省、佐賀県財政課長、佐賀県総括政策監、和歌山市副市長、総務省選挙部企画官、札幌市財政局長、内閣官房内閣参事官、東京大学大学院客員教授、関西学院大学法学部・大学院法学研究科教授等を経て、2020年より現職。

京都大学公共政策大学院名誉フェロー **小西 敦** 氏

東京大学法学部卒業。博士(政策科学・立命館大学)。

1984年自治省(現総務省)入省、群馬県財政課長、仙台市企画局長、総務省行政評価局調査官等を歴任。2006年東京大学公共政策大学院教授、2008年全国市町村国際文化研修所教務部長兼調査研究部長、2009年同調査研究部長・京都大学公共政策大学院特別教授、静岡県立大学教授等を経て、2018年より現職。

## 令和6年度 研修受講者の声 ~研修アンケートから~

- 自治体決算の基本的なしくみがよく理解できた。
- 決算カードの中のデータの見方と基本が分かった。
- 行政評価に議会が関わる重要度が理解できた。
- 行政評価の自治体での状況や活用方法、決算審議のあり方についてグループでの意見交換ができたこともよかった。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

## JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

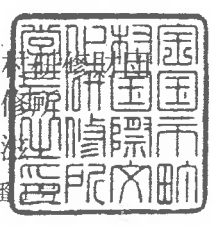
主査	主査	主任	係長	補佐	次長	局長	副議長	議長
井上	黒木	川上	谷	谷	谷	谷	谷	谷

③

全国研第113号  
令和7年4月11日

大阪府 泉大津市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所  
学長 荻澤 法  
滋賀県大津市唐崎二丁目13番  
登録番号 T6040005002305



研修受講決定兼請求書

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。  
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願いたします。

氏名	井上 信久
コース名	令和7年度市町村議会議員研修 [2日間コース] 「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」
研修期間	令和7年5月19日 (月) ～ 5月20日 (火)

1 研修受講に要する経費の納入について  
下記金額を、指定期間内に指定口座に振り込んでください。

- (1) 納入金額：8,050円  
 <内訳> 研修費 (@1,300) (課税10%分) 2,600円  
 食費 (課税10%分) 1,700円  
 食費 (不課税分) 1,450円  
 研修生活動費 (課税10%分) 2,300円  
 4,900円  
 220円 (振込手数料)  
 計 5,120円
- (2) 税区分による内訳：(課税10%分) 6,600円(内税 600円)  
 (不課税分) 1,450円(内税 0円)
- (3) 指定期間： 令和7年5月8日 (木) ～ 5月14日 (水)
- (4) 指定口座： 滋賀銀行 唐崎支店 普通No. 461158  
 みずほ銀行 大津支店 普通No. 1705329  
 名義人：ザイ センコクジョウリョクケンシュウザイダン  
 センコクジョウリョクケンカイブケンシュウジョ  
 (公財) 全国市町村研修財団  
 全国市町村国際文化研修所

注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず団体名を記入してください。  
 注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。  
 注3) 振込手数料は、貴団体で負担願います。



# 受講証明書

団体名：大阪府 泉大津市

所属・氏名：泉大津市議会 議員 井上 信久

研修名：令和7年度市町村議会議員研修 [2日間コース]  
「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」

期間：令和7年5月19日（月）～ 5月20日（火）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和7年5月20日

全国市町村国際文化研修所  
学長 荻澤 滋

